

L'arc~en~Ciel。この名前を最初にテレビで見た時、読み方すらわからなかった。

街中にあふれる「HONEY」や「NEO UNIVERSE」を聴いた時、心囚われCDを買いエンドレスで聞いた。でもそれだけだった。

映画「下弦の月」を観た時にhydeに無性にひかれて、L'arc~en~CielのHPを見るようになった。でもそれだけだった。

でも、ふと立ち寄った書店のレジの横に「SMILE」のCDを見かけて買ってしまったら、落ちてしまった。

hydeではなく、tetsuにはまった。

tetsuの「哲学。」を買い、tetsuが身に着けていたものと同じDIORやVivienne Westwoodのペダントを買い、HYSTERIC GLAMOURの店に行き、生まれて初めてLIVEに参戦した。

「fate」のような曲が作りたくなり、作曲を習い始めた。コード進行を身に着けただけに終わった。

今度は、tetsuのようにベースを弾きたくなって清水から飛び降りてtetsuモデルのベースを買い、音楽学校に行き、「GLAMOROUS SKY」を半年かけてコピーした。自宅で曲をかけながら一緒に弾くだけでも楽しいのに、バンドレッスンで何度もセッションした。ライブハウスにも立った。

それからどうしても「DIVE TO BLUE」をコピーしたくなり、バンドメンバーを一生懸命探してラルクに洗脳した。20代のようにここにしているボーカルの女性と、10代の白黒のチェック柄がやたら好きなギターの男性と、高校生のシャイなドラムの男性と、30代の私。

ボーカルから「渡戸さん、固まってないで動いて弾いて」と何度も言われるも、こちとら立って弾くだけでも大変なのだ動いたらベースラインが崩れてしまう、tetsuが重いベースを抱えてLIVEであんなにターンしたり走ったり飛んだりするのがどんなに大変なのかを知った。ベースラインも動きも、無用に動いていると言われがちなtetsuがどんなにサービス精神旺盛にやっているか思い知った。

日産スタジアムで2日間のLIVEがあった時、当然に2日間参戦したが、本当は仕事で私の属するグループ全体がLIVEの立入検査に関わっていた。ラルク好きを公言していた私には知らせず私には担当させずに、他の職員4人で回してくれていた。後でそれを知った時、その心持がうれしかった。

hydeは白いご飯を食べずに豆腐を主食として体形をキープし、kenちゃんはひたすらLIVEで下ネタに走って場を和ませ、てっちゃんは自分が嫌われてでもバンドをLIVEをよくしようと、ゆっきーはスティックにリズムを刻み続ける。

私の人生をこんなに豊かにしてくれたメンバーに感謝し過ぎることはない。

この類まれなメンバーが織りなす奇跡が、コロナ禍で途絶えた。ネット上では大阪から始まったアリーナツアーでのhydeのボーカル不調が続いていることが載せられ、wowowが収録する3月の代々木の頃には復調していることを願っていたが、コロナでつぶれた。

6月27日に埼玉の映像の断片を合わせたものがwowowで放映されるが、hydeの声が気になってならない。

私は、L'arc~en~Cielの奇跡を、この目で見続けたい。進化系として。